

平成18年度 和歌山県文化功労賞

みずもと きよし
水本 清 (筆号 愛堂)

住 所：和歌山県田辺市
出 身 地：和歌山県田辺市
生 年：大正11年

■現在
書道家
青童社主宰

◎業績及び経歴

大正11年、湊村(現：田辺市)に生まれる。

幼少より書を学び、中学一年生のときの校内展覧会入選を機に炭山南木氏に師事、また、詩法を高橋藍川氏に学ぶ。

昭和20年4月、田辺高等家政女学校教諭嘱託となり、その後田辺市立田辺中部中学校教諭、田辺市立東陽中学校教諭など、戦後の混乱期に教職を務め学校教育の向上、教育行政の発展に貢献する。

昭和24年、書道研究青童社を創設し今日まで子弟の指導育成に努める。

また、自らも日々研鑽を重ね、昭和24年の日展初入選以来、日本書芸院展文部大臣賞を受賞するなど現在まで数多くの賞を受賞、その実力は広く書壇に知られている。

さらに、本年度60回を迎える県美術展覧会においては、延べ22回にわたり審査員を務めるとともに、毎日書道展や田辺市展など多くの書展の審査員として活躍されるなど、書道の発展に尽くしている。

書道を通して、本県の文化振興に大きく寄与された功績は多大である。

■主な表彰歴等

昭和25年 日本書芸院展文部大臣賞
昭和26年 関西総合展関展賞第一席
昭和26年 毎日書道展毎日賞第一席
昭和41年 東京タイムズ書道展東京タイムズ賞
昭和63年 田辺市文化賞